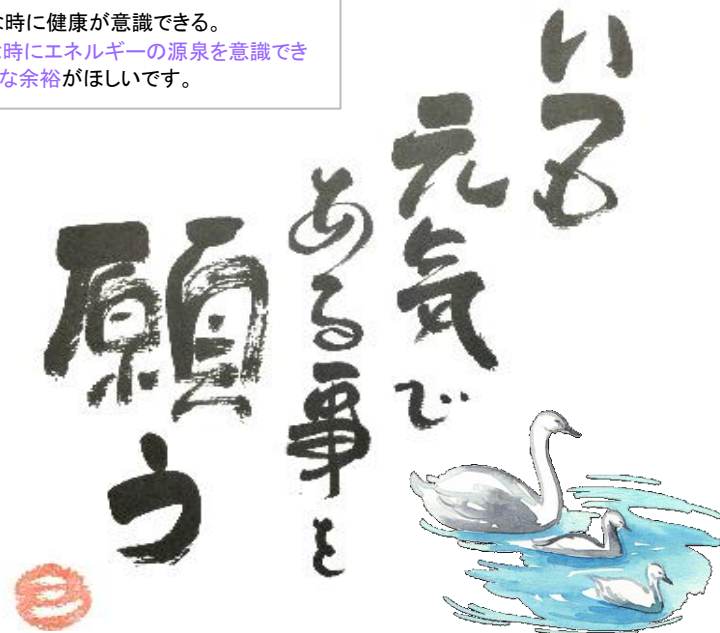


健康な時に健康が意識できる。
元気な時にエネルギーの源泉を意識できる。そんな余裕がほしいです。



「勝ってこい!」初めて言われた父の言葉

涙で帰った その夜に そっと言われた「おつかれさん」

川村 恵斗(埼玉県さいたま市 中学校3年生)

中体連大会等がなくなっていました。
大会等へ向かうプロセスもなくなっていました。
結果より、プロセスの体験ができないことのみさがあります。
チームのメンバーと一緒に汗をかき、笑い 泣き 喧嘩し 我慢し 喜び そんなプロセスを体験できないのは、ずっとスポーツに関わってきた一人のコーチとして残念です。

様々な競技団体が生徒たちへの配慮を考えた取り組みが施行されようとしています。
別な経験をしていることが良い方向へ向かってくれるように願っています。

10年後15年後・・・結婚して、子育てを始める頃、健康が第一で、自分の命 周りの人の命がどんなことよりも大切だと思える人に成長してくれることを願っています。



叱り方のコツ③ 追いつめるな、言い訳を聞いてあげよう!

- 生徒の欠点、弱点を指摘して追いつめれば、反省よりも悔しさだけで頭がいっぱいになるよ。
- ・「そりゃあ悪かったよ。けど、そこまで言うたあねえだろ!」
- 「盗人にも三分の理」。どんなことをしてかしても、生徒には生徒の理屈があると考えたらどうかな。
- どんな些細なことでも、生徒のよさ、肯定できる部分を認め、はっきり表現すること。
- ・叱られている生徒は、自分の全てを否定されている感じになるもの。「それはそうだ、君の気持ちもわかる」などと肯定的な言葉にホッとする。それが、自分を振り返る糸口になる。
- 感情的に叱るな、追いつめるな、言い分も肯定的に聴いてあげれば平和な話ができるようになります。そんな余裕が生まれる呼吸方法を日頃から身につけよう。

休校明けから4週目に入りました。毎日6時間授業。各教科の到達度テストなどへの準備。生徒も先生方も肉体的にも精神的にも疲れが出始めてきています。例年であれば、学校行事などでちょっとリフレッシュできるのですが、きっかけがつかめないことも想定されます。通級指導でも放課後にリフレッシュできる空間や場所及び人が大切になります。時間の質を大切に配慮していきます。雑談トークをしましょう。そして、笑いましょう。笑える雰囲気教室で職場で家庭で作りましょう。